

緑化だより

No.127 平成29年5月号



ハンカチノキ

5月は休園日ありません

- 季節の花(アセビ)
- 小さな世界こけ
- 昆虫の話(空飛ぶクマさん)
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内

ひろしま 緑学りょくがくの森

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp



季節の花

アセビ

「池水(いけみず)に影さえ見えて 咲にほふ 馬酔木の花を 袖に扱入(こき)れな」
大伴家持 万葉集 卷20:451

(池の水面に影を映して美しく映えて咲く 馬酔木の花を 擦り付けて袖に入れよう)

この歌は大伴家持が、大宝2年(702年) 奈良時代の公卿、大中臣清麻呂(おおなかとみのきよまる)の家で宴会があった時、お庭の風情を詠ったものです。

アセビは古名アシビといい、万葉集では「馬酔木」の漢字をアシビと当てて、読ませています。またアシビは「足しびれ」とか「悪し実」から名がついたと言われ、馬がその葉を食べると酔ったようになります。前川文夫博士は『植物の名前の話』の中で「馬酔木」の漢字名は中国系の渡来人の発案によるものだと述べています。馬酔木は中国ではあまり見ることがなく、渡来人にはなじみのない植物だったようです。「馬酔木」という漢字名は、奈良時代には、中国系の人々により、生み出された斬新な名前だったと思われます。

アセビはツツジ科アセビ属の常緑低木です。スズランに似た白い壺形の花を房状に咲かせます。花は白のほかピンク(アケボノアセビ)もあります。花期が長く、早春の2月頃から咲き始めて、5月頃まで咲き続けます。分布は、本州(宮城県、山形県の両県以南)、四国、九州の暖温帯林、に自生しています。アセビは葉、樹皮、花、に強い有毒成分があり、室町時代は池坊立花としては、禁花でした。



アセビ

また伊勢地方では、今でもお正月の門飾りに使用されています。花の房が稲穂に似るところから、豊穰、繁栄が象徴とされ、祝い歌として詠われている地方もあります。人々は時代によって、不吉な木と、めでたい木として利用してきました。現在、奈良公園の春日野には鹿がたくさん生息していますが、アセビは鹿が食べないので、花がよく咲いています。奈良では、昔からアセビは身近な植物で奈良の方言では「鹿食わず(シクワズ)」と言います。

緑化センターの明るい園内でも、白やピンクの可憐なアセビの花が、咲いているのが見られます。(上村)

小さな世界 こけ

コスギゴケとタチゴケ

スギゴケの仲間、よく似たコケにコスギゴケとタチゴケがあります。

どちらもやや湿り気のある土を好み、山ぎわの崩壊したあとや公園、庭などに生えています。又、栽培もやさしいため和風庭園にも使用されています。

スギゴケに比べるとどちらも小さく、葉の長さは5mmくらいですが、ルーペを使って比べて見ると、コスギゴケは、葉の幅が狭く、厚くしっかりした感じで、葉の中央のすじ(中肋)は目立ちません。色は濃緑～灰緑色のマットを作ります。スギゴケ同様、胞子体の帽子には毛があります。

タチゴケの葉は、透けて見えるような柔らかさがあり、波打ったしわがあります。

葉の縁には鋸歯があり、葉の中央には先端まですじ(中肋)が見られます。胞子体はチョコレート色で全体がつやつやしています。

タチゴケの仲間には、ムツタチゴケ、少し小さいヤクシマタチゴケ、やや大きめのケイリントチゴケ、などがあります。

5月になると、どちらも雄株の先端に、こけの花(造精器)が見られます。(山根)



コスギゴケの葉(上)と胞子体(下)



タチゴケの葉(上)と胞子体(下)

昆虫の話

空飛ぶクマさん

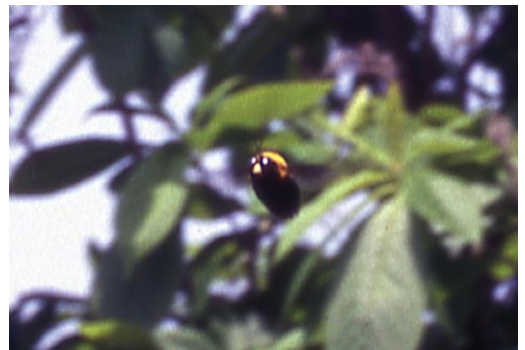
天候がいいこの季節。ツツジの花も咲き、ピクニックに最適です。そんな皆さんを怖がらせるのが、上空でブンブン音を鳴らして飛んでいるハチさんです。

このハチは「クマバチ」というハチです。地域によっては「クマンバチ」と呼ばれることもあります。丸く太い体で小さな翅を羽ばたかせて、音を出して空中で静止(ホバリング)している姿は、まるで超小型のドローンの様です。

このクマバチには面白い逸話があります。昔、クマバチの飛行について研究していた研究者は「クマバチは理論上飛べない」と結論を出しました。彼らがどうやってもクマバチが飛ぶ理論を証明できなかったことから、「あいつは自分が飛べないことを知らないから飛べるのだ!」とさえ言わせたほど、体と翅のバランスがおかしいのです。

こんなクマバチが上空でホバリングしているのは、メスを待っているからです。そんな彼らにとって、飛んで近づいてくるものは、待っていたメスカ、自分の縄張りを奪いにきたオスのどちらかです。どちらにしても追いかけていかなければいけません。そのため丸い石ころをクマバチに向かって投げると必死に追いかけていきます。そして、ただの石ころだと気付くと、とぼとぼと自分の縄張りに戻ってきます。

こんなクマバチの事、ちょっとは怖くなくなりましたかね? では最後にもっと安心しましょう。ハチの毒針は卵を産むための産卵管が変化したものです。つまり、縄張りをはっている「オス」のクマバチは毒針を持っていません。ずんぐりむっくりの空飛ぶクマさんはあまり怖がらなくてもいいのです。(広島市森林公園こんちゅう館 藤井)



縄張りをホバリングするオスのクマバチ



クマバチ 花を訪れるのは毒針のあるメスが多い

研修会のご案内

- | | |
|---|---|
| ○ 5月13日(土) 『春のバードウォッチング』
緑化センターの繁殖環境
※自由参加、無料、双眼鏡持参 | 10:00～12:00 管理事務所前 集合
講師：日本鳥類保護連盟会員
吉見 良一 |
| ○ 5月14日(日) 『5月の自然探勝』
植物の棲み分けを観察する
※自由参加、無料 | 10:00～12:00 第5駐車場 集合
講師：森林植物研究家
埴田 宏 |
| ○ 5月20日(土) 『ボタニカルアート教室』
身近な植物を描こう
※要予約、無料、色鉛筆持参 | 13:00～15:00 学習室 集合
講師：広島ボタニカルソサイエティ |
| ○ 5月24日(水) 『コケと草花の観察会』

※自由参加、無料、ルーペ持参 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師：広島大学名誉教授
関 太郎 |
| ○ 5月28日(日) 『庭木の病虫害教室』
割って内側から見る被害木
※自由参加、無料 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師：樹木医
菅 信貴 |
| ○ 5月28日(日) 『マツの手入れ 春』
マツのみどり摘みの実習
※定員に達したため締切りました | 13:00～15:00 学習室 集合
講師：樹木医
菅 信貴 |

◎ 展示会

場所:レストハウス

(ガラスケース展示)

・陶芸作品展「陶友会」

5月2日(水)～6月11日(日)

(ボード展示)

・絵手紙作品展「ろまん会」

5月1日(月)～6月4日(日)

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

・春のおでかけキャンペーン

～5月28日(日)

緑化センター・森林公園

両園でスタンプを集めて景品ゲット!

第16回ひろしま「山の日」県民の集い

(レストハウス前)

6月4日(日) 10:00～15:00

森を元気に、森を守ろう

ネイチャーゲーム、木の実や枝で自由工作

ノルディック・ウォーク、紙ヒコーキ飛ばしなど

～森林公園イベント情報～

5月3日(水・祝) 森のネイチャークラフト教室

5月4日(木・祝) 木の葉探しゲーム

5月4日(木・祝) 昔の遊び広場

5月5日(金・祝) 安芸戦士メープルカイザーショー

5月5日(金・祝) 折り紙ヒコーキ教室



昨年の陶芸作品展「陶友会」より



昨年の絵手紙作品展より